

植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討—（再訂稿）  
—昭和戦前期警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 14 日（日）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	1
1 はじめに	1
2 著書	1
3 雑誌掲載論稿	2
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）	6
【関連事項】	8

（補正経緯）

HP 初出: 平成 22（2010）年 4 月 15 日（木）初稿作成  
平成 24（2012）年 8 月 22 日（水）改訂稿作成  
（一部補正、追加）  
令和 4（2022）年 8 月 14 日（日）再訂稿作成  
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

1 はじめに

先般、たまたま、植木鬼仏（本名：梅造、？～？）『川柳警察史話』（松華堂書店、昭和 16 年 8 月 14 日刊。徳富蘇峰題字、尾佐竹猛序）を見る機会があった。一読するに、同書は、我が警察史検討上も、極めて貴重な業績であると思われた。加えて、徳富蘇峰（1863～1957）の題字があり、また、尾佐竹猛博士（1880～1946）が、序文を載せ、「我が鬼仏君は警察界の鬼才である。」と書いておられるのには、吃驚した。これまで、著者の植木鬼仏のことは、まったく知るところがなかったため、本稿では、この機会に、同氏の著作その他について、簡単に紹介することとした。今後、更に、同氏のパーソナル・ヒストリーにつき、検討していきたいと考えている。御示教の程お願いする次第である。

（追記）植木の写真については、警察政策学会警察史研究部会編「鷺巣敦哉及び植木鬼仏の個人写真について—『警察講習所第十三期卒業記念』アルバムから—」『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集』（警察政策学会資料第 114 号、上冊、警察史研究部会編、警察政策学会、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）255、256 頁参照。（令和 4（2022）年 8 月 14 日追加）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf>〉

## 2 著書

・植木梅造（赤坂表町警察署内）編輯『昭和警察川柳』（川上三太郎序。昭和8年刊）（現物未見）〈<http://www.kosho.or.jp/list/044/06450587.html>〉

・HP「日本の古本屋」：（東京・木本書店〈支店〉価格：8,000円）に拠る。

〈<http://www.kosho.or.jp/servlet/top>〉（平成24年8月22日現在確認）

・川上三太郎（1891～1968）：「web川柳博物館」

〈[http://www.doctor-senryu.com/01\\_museum/index.html](http://www.doctor-senryu.com/01_museum/index.html)〉

・植木鬼仏『隠語と用語』（川柳文芸社、昭和10年1月1日刊）（現物未見。下記平成8年大空社復刻本によれば、扉には「植木鬼仏著」とあり、奥付には、著者兼発行印刷人に「植木梅造」とある。植木の住所：東京市渋谷区代々木上原町1140、川柳文芸社の住所：東京市渋谷区代々木上原町1140。これよりすれば、同書は、あるいは、自己出版か。）

（参考：自序：「警察に相当長い私は、」、「他面私は川柳人として、」）

・植木鬼仏『浮雲』（現代川柳叢書第2、東京川柳研究社、昭和11年9月刊。川上三太郎序）（現物未見）

・植木鬼仏『川柳警察史話』（松華堂書店、昭和16年8月14日刊。徳富蘇峰題字、尾佐竹猛序）

（参考：「私は作句と警察に職を奉ずること二十余年の経歴からして」（はしがき2頁）、「私の生まれは群馬県でありまして」、「私の生まれた国定村の近くでは」（369頁）、「日本川柳界の重鎮、わが師川上三太郎先生」（408頁））

・『世界犯罪隠語大辞典 / 西山光、黒沼健共編．全国隠語集符牒なら何でも / 西堀忠治著．隠語と用語 / 植木鬼仏著．隠語辞典 / 栗田書店編集部編』（東京大空社、平成8年12月29日刊）（隠語辞典集成7。注記：「世界犯罪隠語大辞典」：「犯罪実話」第3巻第1号（新年号）附録 大同書房 昭和8年刊の影印；「全国隠語集符牒なら何でも」：帯伊書店 昭和8年刊の影印；「隠語と用語」：川柳文芸社 昭和10年刊の影印；「隠語辞典」：「新聞語辞典」附録 栗田書店 昭和11年刊の影印；著者のヨミは一部推定）

・（参考）『隠語辞典集成 別巻・資料編』（大空社、平成9年12月24日刊）中、武藤康史「辞典解題」（第7巻分：28～32頁、『隠語と用語』分：29頁）⇒「A6版小冊子、表紙には植木鬼仏著とある、自序より、植木は警察官かつ川柳人とする。」

〈[http://www.amazon.co.jp/%E9%9A%A0%E8%AA%9E%E8%BE%9E%E5%85%B8%E9%9B%86%E6%88%90-%E5%88%A5%E5%B7%BB/dp/475680358X/ref=sr\\_1\\_1?s=books&ie=UTF8&qid=1345598309&sr=1-1](http://www.amazon.co.jp/%E9%9A%A0%E8%AA%9E%E8%BE%9E%E5%85%B8%E9%9B%86%E6%88%90-%E5%88%A5%E5%B7%BB/dp/475680358X/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1345598309&sr=1-1)〉

## 3 雑誌掲載論稿

（○：『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第125巻、第126巻〈各警察編、大空社、平成9（1997）年5月26日刊〉に表紙、目次等が掲載されているもの。

×：上記総覧に掲載されていないもの。）

[http://www.amazon.co.jp/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E6%96%B0%E8%81%9E%E9%9B%91%E8%AA%8C%E6%96%87%E5%BA%AB%E6%89%80%E8%94%B5%E9%9B%91%E8%AA%8C%E7%9B%AE%E6%AC%A1%E7%B7%8F%E8%A6%A7-%E7%AC%A1%E5%B7%BB%E7%AC%AC126%E5%B7%BB%E2%80%95%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E6%B3%95%E5%AD%A6%E9%83%A8%E9%99%84%E5%B1%9E/dp/4756805493/ref=sr\\_1\\_8?s=books&ie=UTF8&qid=1345598374&sr=1-8](http://www.amazon.co.jp/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E6%96%B0%E8%81%9E%E9%9B%91%E8%AA%8C%E6%96%87%E5%BA%AB%E6%89%80%E8%94%B5%E9%9B%91%E8%AA%8C%E7%9B%AE%E6%AC%A1%E7%B7%8F%E8%A6%A7-%E7%AC%A1%E5%B7%BB%E7%AC%AC126%E5%B7%BB%E2%80%95%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E6%B3%95%E5%AD%A6%E9%83%A8%E9%99%84%E5%B1%9E/dp/4756805493/ref=sr_1_8?s=books&ie=UTF8&qid=1345598374&sr=1-8)

(1) 『警察協会雑誌』（財警察協会刊）（△のみ実見）

・本 HP 別稿「『警察協会雑誌』発行表」参照。（平成 24 年 8 月 22 日追加）

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>

・○植木鬼仏「武道大会と川柳」第 387 号（昭和 7 年 11 月 1 日刊）96 頁

・○赤坂区表町警察署 植木梅造「川柳で見た警察」第 407 号（昭和 9 年 6 月 10 日刊）51 頁

・×東京赤坂表町警察署 植木梅造「謡曲「蟬丸」廃止運動と其の取締」第 414 号（昭和 10 年 1 月 10 日刊）54 頁（謡曲「蟬丸」関係サイト：下記参照。）

<http://www.kuniomi.gr.jp/togen/iwai/semiyou.html>

・×△東京赤坂表町警察署 植木梅造「高橋是清翁と語る」第 426 号（昭和 11 年 11 月 1 日刊）37 頁（高橋是清：1854～1936、2.26 事件の前年の訪問記として貴重。）

・○植木鬼仏「趣味 川柳より見た江戸の警戒」第 435 号（昭和 11 年 8 月 1 日刊）？ 頁

・○植木鬼仏「趣味 川柳より見た江戸の警戒（2）」第 436 号（昭和 11 年 9 月 1 日刊）72 頁

・○植木梅造「談話室 新議事堂参観記」第 440 号（昭和 12 年 1 月 1 日刊）110（？） 頁

・○植木鬼仏「明治からの警察川柳」第 455 号（昭和 13 年 4 月 1 日刊）41 頁

・×植木梅造「夏の夜ばなし」第 460 号（昭和 13 年 9 月 1 日刊）38 頁

・○警視庁警部 植木梅造「幕末の思出話を嵯峨公勝侯に聴く」第 467 号（昭和 14 年 4 月 1 日刊）44 頁（嵯峨公勝：1863～1941、愛新覚羅溥儀妃浩（1914～1987）の祖父）

・○植木梅造「談話室 「恐縮づくし」」第 470 号（昭和 14 年 7 月 1 日刊）77（？） 頁

・×植木梅造「事変川柳」第 474 号（昭和 14 年 11 月 1 日刊）46 頁

・×警視庁 植木梅造「江戸時代町方の自治制」『警察協会雑誌』第 484 号（昭和 15 年 9 月 1 日刊）34 頁

・×警視庁 植木梅造「警察川柳」第 514 号（昭和 18 年 3 月 1 日刊）27 頁

・×警視庁 植木梅造「警察川柳漫画」第 516 号（昭和 18 年 5 月 1 日刊）18 頁

(2) 『警察思潮』（警察思潮刊）（現物全部未見）

・○植木鬼仏「警察の一日（川柳）」第 12 巻第 3 号（昭和 14 年 3 月 5 日刊）92 頁

・○植木鬼仏「江戸の床屋」第 12 巻第 6 号（昭和 14 年 6 月 5 日刊）？ 頁

- ・○植木鬼仏「忠臣新田義興公を偲ぶ」第12巻第10号（昭和14年10月5日刊）114頁（新田義興：1331～1358）
- ・○植木鬼仏「今川徳太郎とおそのゐ馬鹿〈ママ〉（江戸東京所どころ）」第12巻第11号（昭和14年11月5日刊）70頁
- ・○植木鬼仏「江戸東京所どころ」第13巻第1号（昭和15年1月5日刊）96頁
- ・○植木鬼仏「日本橋界限（江戸東京所どころ）」第13巻第2号（昭和15年2月5日刊）69頁
- ・○警視庁 植木梅造「少年職工の指導と取締」第13巻第11号（昭和15年11月5日刊）16頁
- ・○植木鬼仏「川柳警察史話」余談」第14巻第11号（昭和16年11月5日刊）100頁
- ・○警視庁 植木梅造「江戸幕府の出版物と文書取締」第14巻第3号（昭和16年3月5日刊）63頁

(3) 『自警』（自警会）（調査中、△：実見）

- ・本HP別稿「『自警』発行表（戦前期）」参照。（平成24年8月22日追加）  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf)
- ・△例えば、『自警』第13巻（昭和6年刊）、第14巻（昭和7年刊）等巻末掲載の「川柳」（中山紅夢選）、「へなぶり」、「冠句」欄に、「植木鬼仏」、「鬼仏」名義の句作多々あり。ただし、上記植木梅造（赤坂表町警察署内）編輯『昭和警察川柳』（川上三太郎序。昭和8年刊）が出たこともあってか、第15巻（昭和8年刊）以降には投稿はなしか。長年「川柳」欄の選者を務めた中山紅夢（?～?）とは誰ぞ。同氏は、長く『自警』主幹であった富益義衛（?～?）が昭和11（1936）年夏に勇退した後の『自警』の編輯を分担した人物（例えば、「自警会編集部記者」：『自警』第25巻第7号〈昭和18年8月1日刊〉23頁）であるらしく、関心が持たれる。『自警』に警察史関係の記事を多く執筆し、また、同誌の編輯をもした市川柳影（?～?）とともに、次の課題か。なお、中山紅夢「川柳選者交代に就て」『自警』第19巻第1号（昭和12年1月1日刊）229頁参照。ただし、同氏は、後年、再度選者を務めている。
- ・（参考）△高木角戀坊（1876～1937）「川柳の面白さ—初心者のために与ふ—」『自警』第14巻第151号（昭和7年4月10日刊）117頁  
[〈http://www.doctor-senryu.com/01\\_museum/kakurenboh.html〉](http://www.doctor-senryu.com/01_museum/kakurenboh.html)
- ・△植木鬼仏「『川柳で見た警察』放送の反響」第16巻第178号（昭和9年6月10日刊）78～79頁（植木は、昭和9年5月2日夜AK（NHK東京）から「川柳で見た警察」を放送。その際、松井茂博士〈1866～1945〉のお言葉をもらった由。）
- ・△植木鬼仏「関所と旅人—川柳考証—」第21巻第9号（昭和14年9月1日刊）60～67頁
- ・△植木鬼仏「古川柳で見る丸の内界限」第22巻第1号（昭和15年1月1日刊）78～84頁

- ・△植木鬼仏「小伝馬町の牢屋敷と馬喰町の訴訟宿—古川柳で見る—」第 22 卷第 3 号（昭和 15 年 3 月 1 日刊）80～85 頁
- ・△植木鬼仏「古川柳で見た縁切寺法—趣味の頁—」第 23 卷第 1 号（昭和 16 年 1 月 1 日刊）88～95 頁
- ・（参考）川上三太郎（1891～1968、日本川柳協会常任委員）「有難い哉警視庁—川柳參觀記—」『自警』第 23 卷第 5 号（昭和 16 年 5 月 1 日刊）62～65 頁（植木鬼仏の案内に拠る由。）
- ・△植木梅造（労政課）「戦力増強と産業安全の指導」第 25 卷第 5 号（昭和 18 年 5 月 1 日刊）32～35 頁
- ・△植木梅造（老政課）「決戦産業に伴ふ工場防火の重要性」第 25 卷第 10 号（11 月号、昭和 18 年 11 月 1 日刊）32～35 頁

(4) 『台湾警察時報』

- ・中島利郎・林原文子共編『『台湾警察協会雑誌』、『台湾警察時報』総目録』（緑蔭書房、平成 10 年 8 月 25 日刊）に拠る。（現物未見。）

〈<http://www.amazon.co.jp/%E3%80%8E%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%8D%94%E4%BC%9A%E9%9B%91%E8%AA%8C%E3%80%8F%E3%80%8E%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%99%82%E5%A0%B1%E3%80%8F%E7%B7%8F%E7%9B%AE%E9%8C%B2-%E4%B8%AD%E5%B3%B6-%E5%88%A9%E9%83%8E/dp/4897740215>〉

- ・植木梅造「明治・大正・昭和の川柳に現はれた警察」第 282 号（昭和 14 年 5 月 10 日刊）25 頁
- ・警視庁 植木梅造「江戸時代町方の自治制」第 300 号（昭和 15 年 11 月 10 日刊）35 頁（上記『警察協会雑誌』第 484 号（昭和 15 年 9 月 1 日刊）掲載のものゝ転載か？）

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 14 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（靈山）検討一斑—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>>
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>>
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>>
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>>
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>>
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>>
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>>
- ・「田村豊氏著作目録」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>>
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>>
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>>
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>>
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>>
- ・「『警察協会雑誌』発行表」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozaasshi.pdf>>
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>>
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」（本稿）  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>>
- ・「北京等駐在內務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等—昭和戦前期警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」  
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>

- ・『大霞』発行表  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf)
- ・『自警』発行表（戦前期）  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf)
- ・『警察春秋』とは何ぞ（改訂稿）—大正・昭和戦前期警察史の一齣—  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf)
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf)
- ・『法制時報』とは何ぞ（五訂稿）—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—（本稿）  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf)
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」  
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf)

\*\*\*\*\*

【関連事項】（令和4年8月14日追加）

- ・法制史学会：[〈https://www.jalha.org/〉](https://www.jalha.org/)
- ・国立国会図書館：[〈https://www.ndl.go.jp/〉](https://www.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館デジタルコレクション [〈https://dl.ndl.go.jp/〉](https://dl.ndl.go.jp/)
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）  
[〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/individuals\\_index.html〉](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）  
[〈https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/〉](https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/)
- ・CiNii：[〈https://ci.nii.ac.jp/〉](https://ci.nii.ac.jp/) ⇒ [〈https://cir.nii.ac.jp/〉](https://cir.nii.ac.jp/)（**【[2022] 4/18 更新】**CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、[〈https://ci.nii.ac.jp/books/〉](https://ci.nii.ac.jp/books/)

（了）